

安心生活創造事業

駒ヶ根市社会福祉協議会

原則1

地域で支援を必要とする人々とそのニーズを把握する

- 民生委員による各戸訪問で作成した一人暮らし高齢者台帳
- 災害時要援護者台帳を基に各自治組合で作成した災害時住民支え合いマップによる要援護者と支援者とそのニーズ
- こまちゃん宅福便、地域包括支援センター等で把握、支援している対象者とそのニーズ
- その他、社協の各種事業で把握している対象者
- 上記を照合し、対象者とニーズを把握する

原則2

基盤支援を必要とする人が漏れなくカバーされる体制をつくる

- 2ゾーンに主任を配置し、訪問員(サポーター)と協力し小地域ごとの支援体制をつくる
- 地区社会福祉協議会を常会単位に組織化する
- 福祉推進員・福祉員にサポーターになっていただく
- こまちゃん宅福便を地域化し、さらなる活用を図る
- 支え合いマップづくりで地域資源の掘り起こしと支援体制の構築を図る
- 生協、商店など事業者と連携し、宅配などの支援と情報を届ける

原則3 それを支える安定的な地域の自主財源の確保に取り組む

- つれてってカード協同組合と連携、加盟店に買い物支援（宅配等）の協力を得る。高齢者版タウンページの作成を通じてサービスポイントの半分をこの事業の資金に寄付いただく
- 県外居住の地元出身者へのふるさと納税の依頼
- 地元パチンコ店にあまり玉貴金箱の設置
- 共同募金の活用